

が聞きたい

一般質問

指定管理

モニタリングの実施

市長／報告書・実地調査等で確認



峰 勝 議員

峰 指定管理者が管理している21施設の今後の計画と方向性が示されているが、取り組み状況と指定管理者モニタリングマニユアルの「業務の履行状況の確認」の実施状況を示せ。

蔵元 地方自治法の改正により、総合計画の策定は市町村の判断に委ねられた。市は南九州市総合計画策定条例を定め、今後最上位計画として策定していくことを決めている。今後、基本計画において、住民の意向をど

蔵元 住民参画については課題が多いが、無作為抽出による市民参加など、色々な手法もある。次の総合計画策定までに住民の意思が最大限反映



蔵元 慎一 議員

総合計画

住民の声を計画に

市長／みんなのまちづくり基本条例に基づき進める

のように取り入れていくか。

市長 市民からの施策提案、パブリックコメント手続き、地域審議会及び総合計画審議会への諮問を行った。施策提案については一件、パブリックコメントの意見は得られていない。



地域審議会のようす

され、自らが責任を負う最適な計画づくりの調査研究を進める考えはないか。

市長 あらゆる計画について、今後市民の声を反

映することが重要だと認識している。みんなのまちづくり基本条例に基づき、住民参画を進めていきたい。

市政のここ

ごみ処理

現状と今後の対策は

市長／周知を図り、意見・要望があれば検討する

10人が
登壇

伊瀬知 額娃ごみ処理施設は平成29年度から最終処分場を除き廃止とし、指宿市に建設されるごみ処理施設で処理することであるが、市民にとって距離も遠く非常に不便となる。

また、ごみの減量化やさらなる広域化に取り組む考えはないか。



伊瀬知 正人 議員

市長 指宿市の新ごみ処理施設が完成すると、額娃地域分の直接搬入には不便となる。直接搬入の軽減措置のため、自治会における不燃ごみ等収集を毎月2回行っているの



譲渡予定の額娃多目的研修センター

で、できるだけ自治会設置のごみ収集所をご利用いただきたい。

また、ごみ処理施設廃止について広報や説明会により周知を行い、市民から意見・要望があれば更に対策を検討する。ご



額娃ごみ処理施設

を図る。さらに抜本的な広域再編は今後も引き続き検討協議を行う。

市長 指定管理により運営されている21施設は指定期間が満了していることから、指定期間の満了までは現在の指定管理による管理運営を継続していく。

業務の履行状況の確認については、適切かつ確実なサービスの提供が確保されているか、また安定的・継続的なサービスを提供することが可能で

あるか測定・評価等を実施し、必要に応じて指導・助言を行う。指定管理者から提出される報告書を基に確認等を行い、必要に応じて施設への立ち入り、管理運営状況の実地調査等を行っている。

里道整備

市道以外の道路整備について

市長／南九州市里道の整備に関する要綱を定め対応する



亀甲 俊博 議員

亀甲 平成25年3月議会において質問した市道以外

の道路整備について検討すると答弁しているが、どのような検討がなされたか。

市長 関係部課を含めて

検討し、市道として認定が困難な道路については、一定の基準を設けて整備を行う必要があると判断し、新たな「南九州市里道の整備に関する要綱」を定め、平成26年度から地域の要望に対応したいと考えている。

要綱の内容は、「地域住民が生活道路として利用する道路」「不特定多

数の人が利用する公共性の高い道路」について整備の基準を満たしていれば対象となる。

このほか、災害復旧及び安全対策上必要がある

と認める道路については、従来通りの取扱いとなる。

その他の質問

○共生・協働によるまちづくり

○地元業者育成



未整備の里道

消防団

定数や再編の考えは

市長／今後も継続して検討する



蓮子 幹夫 議員

蓮子 消防団員は市外勤務も多く、団員数は確保されていても、消防団活動に対応できないと思う。定数や再編を検討する考えはないか。

市長 現在、全体の55・8%の方が被雇用者である。基本的な消防団制度の充実強化に努めてまい



消防団出初式

りたい。平成23年度から一市一団長制へ変更し、この見直し時に消防団員の定数も消防後援会とも協議したが、検討の継続をする必要がある。同様に地域実情にあった組織の構築も検討していき

条例公民館について

教育長／当分の間、現在の状況で対応

蓮子 校区・地区公民館は各地域で運営状況が異

なっているが、いつ頃を目途に統一された運営とするか、また館長選任の規定を設けるなど条例を整備する考えはないか。

教育長 当分の間は、3

町それぞれの運営を充実させていった方が良く

考えているが、調整できるところから図っていき

学校再編

穎娃地区中学校再編は

教育長／民意を尊重する



加治佐 民生 議員

加治佐 少子化が進む中、小中学校の再編は避けて通れないと考えるが見解を問う。

また、昨年12月に穎娃地区中学校再編検討委員会より、統合すべきとの答申がなされたが、これまでの取り組みと今後の対応を問う。



穎娃地域での説明会

教育長 南九州市教育委員会としては、民意を尊重する考え方であるので、強引に小中学校の再編を推進することは考えていない。

しかしながら、市民が主体となった南九州市穎娃地区中学校再編検討委員会から「次代を担う南九州市の子どもたちに、真に必要な教育環境を整備するため、学校の統合を実施すべきである」と

いう答申を受けたことは、真摯に受け止めている。

穎娃地区中学校再編については、教育委員会と協議のうえ地区説明会を開催する考えである。各地区での説明会が終わった段階で、中学校統合に向けた作業を進めるべきか判断したいと考える。

その他の質問
○鳥獣被害防止対策

学校給食

地元野菜等の使用は

教育長／可能なかぎり取り入れるよう検討する



内園 知恵子 議員

内園 学校給食に使用されている南九州市産の野菜は平均45%にすぎない。使用量や種類を増やす考えは。

教育長 年間約35種類の野菜を使用しており、今後も使用量の拡大と、他の野菜も可能な限り取り入れるよう検討する。

内園 市内産米使用量は45・83%で、残りは学校給食会から調達しているが、学校給食会は「各市町村の判断で制約はしていない」としている。農業振興のためにも地元産米を100%使用にする考えはないか。



地元食材の検収

給食センター所長 県学校給食会からの購入を今後も維持していきたい。

地元業者育成について
市長／できるだけ地元業者の活用に努めたい

内園 「地元業者育成について」の請願がされたが、市内業者からは未だに不満の声も聞かれる。市の対応を問う。

市長 地元業者が調達可能な事務用品、事務機、教材備品の購入、印刷製本等の業務は市内に本社がある業者を選定し見積入札をし、最大限努力している。

その他の質問
○介護保険

茶流通拠点

施設整備と今後の取り組みは

市長／出品茶工場については、振興会が検討し整備する



塗木 弘幸 議員

塗木 茶流通拠点施設整備に予算が計上されているが、事業内容と今後の取り組みを問う。

市長 仕上げ加工施設はJA南さつまが主体となり、現有施設を活用して整備する。茶の低温貯蔵施設については、JAいぶすきが主体となり検討する。出品茶工場については、茶研修施設を含め茶業振興会が主体となり、規模や場所を検討し整備する。

工事入札の現状と対応は市長／地元業者の受注状況を考慮し入札を行っていく

塗木 建設現場での人手不足が深刻化し入札不調



整備される加工施設

が増加しているが、本市の公共工事発注の現状と今後の対応を問う。
市長 現場への支障のない範囲で現場代理人・主任技術者の兼務ができるような要件の緩和措置を行った。現在まで入札不調が3件ある。早期に発注できるものは早期に行い、地元業者の受注状況を考慮しながら公共工事の入札を行っていく。

茶業振興

具体的な取り組みは

市長／お茶の消費拡大を積極的に行う



吉永 賢三 議員

吉永 茶流通拠点施設の整備計画を示す。

市長 現在、低温貯蔵庫はJAいぶすきが、仕上げ加工施設はJA南さつまの管理施設があり、これまで出品茶については成果が出ているので、既存の施設を使用する。流通に関しては、JAが



お茶いっぱいの日バスツアー参加者

主体なので、将来は一つにまとめるよう今後協議をしていく。

吉永 新たな販売戦略についてどのような考えか。

市長 消費拡大対策事業で市とJAが連携し、市内の旅館、飲食店を媒体に喫茶会を増やす対策や各イベントなどで宣伝・販売活動を展開する。
吉永 市内飲食店へまだまだ浸透されていないのではないか。

市長 今後とも理解を求めながら進めていき、お茶アドバイザーを育成し、お茶の消費拡大を積極的に行う。

吉永 健康増進機能の実証についての取り組みは。

市長 一日お茶6杯以上を3ヶ月間飲用し、前後の血液の変化を医療機関と連携し検証するもので、多くの市民の皆様にもモニターとしてご協力いただきたい。

樹木管理

樹勢回復に取り組む考えは

市長／造園業者の意見も聞きながら対応したい



西 次雄 議員

西 市内の公園等の樹木に白いカビやコケ類が付着し、既に枯れ掛けた樹木や植栽も見られる。訪れる観光客等に喜んでいただけるような公園等の樹木や植栽を生き



樹勢の弱った岩屋公園の桜

生きとよみがえらせるため、樹勢回復に取り組む考えはないか。

市長 公園については、市内造園業者に年間管理業務委託しており、樹勢が弱くなっている樹木も見られ、造園業者の意見も聞きながら対応したい。

川辺小のセンダンのその後の対応は

教育長／かごしまみどりの基金事業で実施

西 昨年9月議会で、川辺小学校の大きな木の樹勢回復に向けた対策を講じたことであつたが、その後の対応は。教育長 かごしまみどりの基金へ申請を行い、25年11月30日に樹木医診断等が行われ、センダン2本については樹勢回復術が決定し、ケヤキ1本については、26年度に国のふるさとの森再生事業へ申請したい。

その他の質問
○観光振興

追跡

あの質問・提言はどうなった?!

質問／市民音頭の制作

深町幸子 議員
(平成24年9月議会)

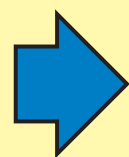
南九州市民音頭制作に向けた今後の計画を示せ。



市長

答弁／平成25年度に制作

曲と振り付けについては、平成25年度に制定したい。



その後



曲、振り付け、歌手が決定！

- H25. 3月 南九州市民音頭制定委員会において歌詞決定
作品：小島ひろ美さん（貝塚市）
- 4月～9月 市民音頭の曲募集
- 10月 曲決定 作品：松田恭雄さん（京都市）
- 12月 南九州市民音頭CD制作及び振り付け等業務委託契約
- H26. 1月 市民音頭の歌手募集（市内在住）
応募者19人（男性4人、女性15人）
- 2月 南九州市民音頭歌手オーディション開催（川辺文化会館） 平木場千晶さんに決定
- 3月 曲のレコーディング（大阪市）